

令和3年コウナゴ曳網調査結果 NO.4

令和3年2月5日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 2月3日 (AM9～AM12) に調査指導船「拓水」により、相馬海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-48N、141-0E～141-17.5E の8点です。
- ・ 丸稚ネットで10m深付近(一番灘の定点は表層)を5分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は5尾であり、沿岸寄りの3点で採捕されました(図1)。全長は7.5～12.5mm、平均9.9mmであり、採捕数は昨年同様に低調となっています(図2)。
- ・ 水温は7.7～11.7℃であり、沿岸寄りで低い傾向でした。
今後、中層トロール網により、2月中旬以降に調査する予定となっております。

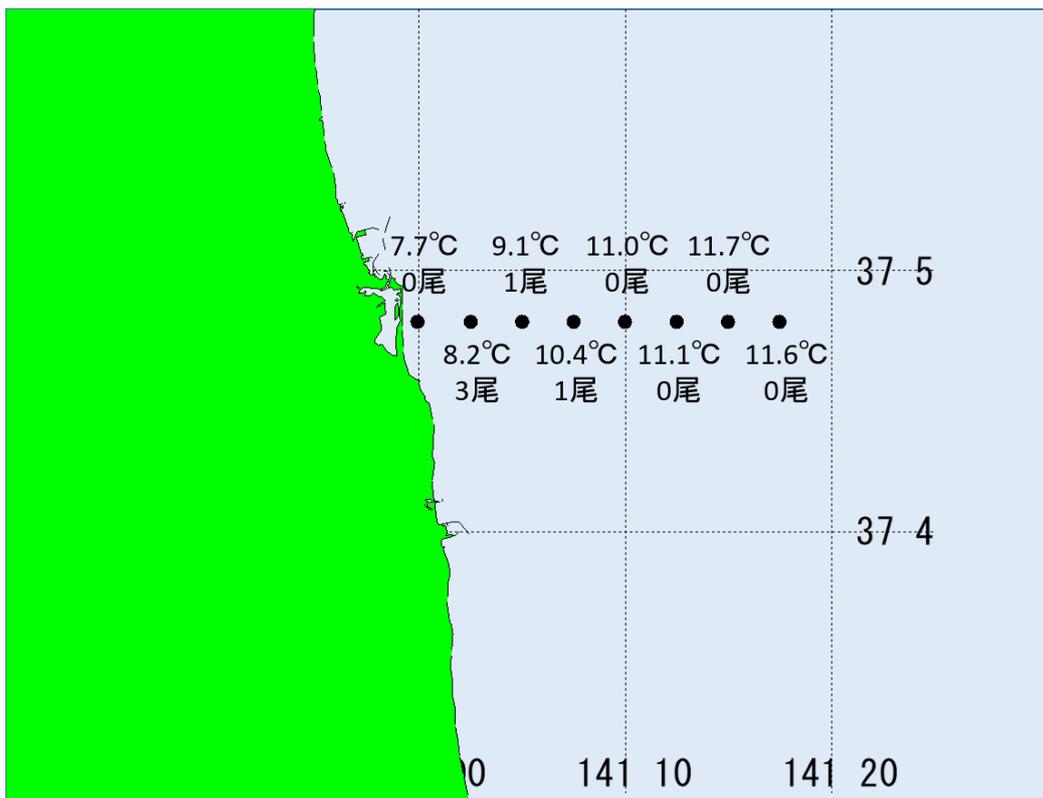


図1 コウナゴ採捕尾数

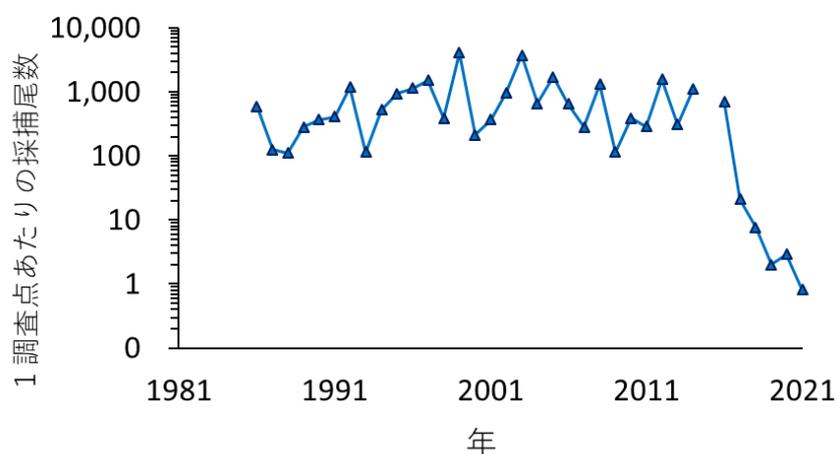


図2 丸稚ネットによるコウナゴ採捕尾数の年推移
(1月～2月の平均値)

丸稚ネット

丸稚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 1.5 ノット程度で 5 分間曳網しております。

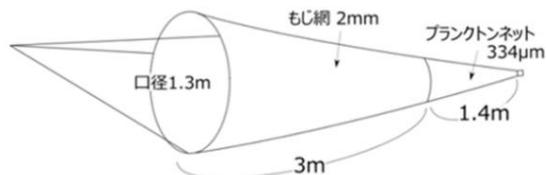


図3 丸稚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/kounago.html>